

横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター
脳神経外科

林 明宗 先生



はじめに

脳神経外科領域で経験した疾患のうち、治療に難渋した顔面痛と慢性頭痛について報告する。顔面痛のうち、三叉神経痛については有効な治療法が確立しているが、非定型顔面痛は治療に難渋するケースが多い。そこで、脾虚に注目し治療した症例を紹介する。また慢性頭痛については、その予防効果についても言及する。

症例 1 34歳 女性 顔面痛

14~15年間、寒冷期になると左頬部のえぐられるような痛みが発症する。痛みは1ヵ月ほど続き、午後に多発する。また、頸部前屈で痛みが誘発される。画像診断上、頸椎はむちうちのような緊張型頭痛の所見を示していたが、特に器質的な疾患を認めず、西洋医学的薬物治療はまったく無効であった。

痩せ型で虚証、非常な冷えを訴える。さらに肩こりがひどい。舌証は特に異常を認めないが、腹証にて胸脇苦満、心下痞、臍上悸を認めた。

本症例の特徴として、顔面痛の発症には寒冷刺激の影響(寒邪)が強く、頸部周辺に筋圧痛を認めるところから瘀血の存在が、さらに腹証から肝氣鬱滯の存在が考えられた。以上の所見から、疎經活血湯と修治附子を処方したが、あまり効果的ではなかったため当帰四逆加吳茱萸生姜湯に変えたところ比較的良

好で、さらに少し温める目的で修治附子を処方した。最終的には風邪をひきやすいということもあり柴胡桂枝乾姜湯と修治附子の併用とした。その結果、痛みは60%程度軽快したため、対症療法(標治)はとりあえず終了した(図1)。

寒冷期の終わりの頃から本治を考え、胃腸虚弱、冷え症、風邪をひきやすいなどの所見から、寒冷期における陽気不足の改善を目的に、補中益氣湯を投与した。その結果、10月、急に寒くなってきたにもかかわらず、痛みが出現したのは3日間だけで、附子を少し追加することで著しく良くなった。その後も軽快し、痛みの持続も短く程度も軽くなった。初診から4年経過した現在、補中益氣湯のみ服薬中(1包/日)であるが、ここ数年は痛みはなく、効果的であった。

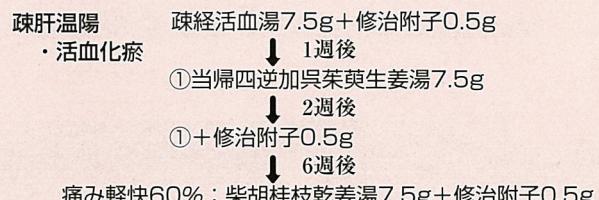
…・考 察・…

特発性三叉神経痛の原因として微小血管圧迫がある。漢方学的に考えると、この圧迫が気・血・水の正常な流れを障害し、ひいては痛みの原因になる。これに寒冷刺激が加わるとさらに流れが悪くなる(図2)。非定型顔面痛の原因についてもこの考え方

●治療前期(標治期: 対症療法期)

顔面痛の特徴

- 毎年冬の発症 寒冷刺激の影響
- 頸・頸部周辺の筋圧痛 瘀血の存在
- 両側・胸脇苦満 肝氣鬱滯の存在



●治療中期(本治期: 原因療法期)

*元來胃腸虚弱で冷え症

風邪をひきやすい

- 脾氣虚証+肝陽上亢
- 寒冷期における陽気不足
- 补中益氣湯: 疏肝+補氣健脾して秋冬の顔面痛発症に備える方針を採用

夏季は、数時間程度の何となく重痛い違和感のみ、鎮痛薬は不要

図1 症例1 治療の推移

ける漢方の応用

シンポジウム

が適用されると考えられる。

症例2 23歳 女性 片頭痛

当院の看護婦。16歳頃からの片頭痛で、前兆、拍動性頭痛ならびに嘔気・嘔吐までの一連の症状が数分で完成する。そのため、仕事にも支障をきたし、周りから白い目でみられ、それが非常にストレスとなっている。

体型は、肥満型で軽い冷え症を認める。以前、他大学の神経内科で西洋医学的治療を受けていたが、症状の進展が早く効果を認めなかった。

発作の西洋医学的予防治療も副作用により、継続できなかっただため、当科を受診した。器質的疾患を否定し、当帰四逆加吳茱萸生姜湯(3包/日)を併用処方した。1週後には発作回数が減少し、1ヵ月後には漢方薬単独で、さらに2ヵ月後には朝1包のみの服薬でも頭痛発作がなくなり、予防も可能となった。

症例3 29歳 女性 片頭痛

臨床心理士。中学生の頃から発症し、発作の頻度は月2回、約5~6時間持続する。発作型は典型的な古典的片頭痛で、緊張型頭痛が前駆する。

目立った所見として、非常に強い冷え症がある。治療方針としては、根底にある冷えの改善を目的として、当帰四逆加吳茱萸生姜湯の処方、それに緊張型頭痛の治療薬としてエチゾラム、アフロクアロンを、発作が起こりやすい週末の前々日のみ服薬させた。その結果、4週後には発作は週1回程度となり、冷え症も改善した。さらに6週後には片頭痛発作は



図2 気・血・水の正常な流れの障害(気滞・気鬱、瘀血、局所水毒)

なくなり、初診後約4ヵ月で従来から服薬していたエチゾラムも廃薬できた。現在では、当帰四逆加吳茱萸生姜湯を1日1~3包、自分で調節しながら服薬を続けることで、完全にコントロールが可能である(図3)。

平成13年11月14日

初診時処方 当帰四逆加吳茱萸生姜湯 3包

エチゾラム(0.5mg)1錠+アフロクアロン(20mg)1錠 眠前

水曜・木曜のみ(金曜発症が多いため)

スマトリプタン(50mg)1錠(頓服)

2週後

片頭痛発作 2回

- スマトリプタンは奏効するが、効果は2時間程度
- 冷え症は改善

4週後

片頭痛発作 1回

- 冷え症はさらに改善: 就寝時の靴下不要になる
- アフロクアロン中止

6週後

片頭痛発作なし

約4ヵ月後 エチゾラム中止

↓ この間約1年1ヵ月でスマトリプタン使用は5錠のみ

平成15年4月30日現在

当帰四逆加吳茱萸生姜湯のみ1~3包(/日)で自己調節中

図3 症例3 臨床経過

ディスカッション Discussion

寺澤 しもやけの薬としてよく使われている当帰四逆加吳茱萸生姜湯が、慢性の疼痛あるいは非定型顔面痛にもきわめて効果的であることを示していただきました。当帰四逆加吳茱萸生姜湯は、脾を温めて氣・血・水をよくめぐらせる処方です。

三谷 私も吳茱萸あるいは当帰の入った処方を慢性疼痛の患者さんに積極的に使用するよう神経内科の先生方にお話していますが、まだ十分に使用していただけないのが現状です。その意味でも今回の症例報告は貴重ですね。

松村 整形外科領域でも脊柱管狭窄症に当帰四逆加吳茱萸生姜湯をかなり使用しています。

寺澤 そうですね。当帰四逆加吳茱萸生姜湯は脊柱管狭窄症にはファーストチョイスの薬剤ですね。